

| | | | | | | | |
|------|----------|------|----|------|---|------|------|
| 科目名 | 人文学演習Ⅳ E | | | | | 単位 | 2.0 |
| 担当教員 | 眞有 澄香 | | | | | | |
| 授業形態 | 演習 | 開講期間 | 後期 | 配当年次 | 4 | 授業番号 | 3356 |

●授業のテーマ

日本近現代文学の研究

●到達目標

自分の研究テーマに関して、自らの意見を述べることができる。また、自分の研究テーマについて多面的に考察し、自分の見解を的確に表現できる。

●学習内容(授業概要)

近代日本において誕生した「小説」は、坪内逍遙「小説神髓」によって「小説の主脳は人情なり」と規定された。爾来、我が国の近代化に伴って発展し、成熟期を迎えていった近現代文学は、ひたすら「人間」を見つめ、その本性を描き出すことに邁進していったといえる。旧弊との葛藤と口語体の獲得という二重の重圧を背負っていた近現代文学の諸作家・作品に触れることで、「人間と文学」について考えていきたい。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. ガイダンス
2. これまでの研究状況の報告—泉鏡花
3. これまでの研究状況の報告—夏目漱石（初期）
4. これまでの研究状況の報告—夏目漱石（晩年）
5. これまでの研究状況の報告—創作小説
6. これまでの研究状況の報告—作家と作品
7. 卒業論文・研究の書き方
8. 卒業論文・研究の注意事項
9. 卒業論文・研究の検討
10. 卒業論文・研究の問題点
11. 卒業論文・研究の課題
12. 卒業論文・研究の題目とテーマ
13. 卒業論文・研究の目次と方法論
14. 卒業論文・研究の問題点と課題
15. 総括

●準備学習・事後学習の内容

授業前は、自分の意見をまとめておくこと。授業後は、指摘された問題や課題について調査し、卒業論文・卒業課題を執筆すること。

●成績評価方法・基準

研究への取り組み（40%）、卒業論文・課題（60%）によって評価する。

●テキスト（必携）

特になし。

●参考文献／その他

適宜、授業時に指示する。

●履修上の注意

卒業論文・研究作成の準備を怠らないこと。